

## 平成30年度公金運用の実績について

平成30年度の公金の運用実績を取りまとめましたのでお知らせします。

### 1. 全体

平成30年度			平成29年度		
平均資金運用額	運用収入	平均利回り	平均資金運用額	運用収入	平均利回り
31,036百万円	19,140千円	0.062%	35,742百万円	16,313千円	0.046%

平均資金運用額は約47億円減少しましたが、平均利回りが増加したため、運用収入は280万円増加しました。

### 2. 内訳

#### (1) 一般会計、特別会計等

##### ① 歳計現金等

	平成30年度				平成29年度			
	平均資金運用額		運用収入	平均利回り	平均資金運用額		運用収入	平均利回り
	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)
普通預金	6,746	64.8	67	0.001	6,034	66.2	60	0.001
定期預金	3,670	35.2	709	0.019	3,074	33.8	641	0.021
債券	—	—	0	—	—	—	0	—
その他	—	—	0	—	—	—	0	—
計	10,416	100.0	776	0.007	9,108	100.0	701	0.008

平均利回りは微減しましたが、平均資金運用額が約13億円増加したため、運用収入は増加しました。

##### ② 基金

	平成30年度				平成29年度			
	平均資金運用額		運用収入	平均利回り	平均資金運用額		運用収入	平均利回り
	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)
普通預金	—	—	0	—	—	—	0	—
定期預金	7,000	70.6	1,924	0.027	8,651	70.4	2,453	0.028
債券	817	8.2	8,694	1.064	843	6.9	8,694	1.031
繰替運用	2,099	21.2	256	0.012	2,789	22.7	364	0.013
その他	—	—	0	—	—	—	0	—
計	9,916	100.0	10,874	0.110	12,283	100.0	11,511	0.094

平均利回りは増加しましたが、平均資金運用額が約24億円減少したため、運用収入は減少しました。

## (2) 企業会計

### ① 水道事業

	平成30年度				平成29年度			
	平均資金運用額		運用収入	平均利回り	平均資金運用額		運用収入	平均利回り
	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)
普通預金	700	24.4	7	0.001	700	13.7	7	0.001
定期預金	2,165	75.6	1,955	0.090	4,414	86.3	2,340	0.053
債券	—	—	0	—	—	—	0	—
その他	—	—	0	—	—	—	0	—
計	2,865	100.0	1,962	0.068	5,114	100.0	2,347	0.046

平均利回りは増加しましたが、平均資金運用額は約22億円減少したため、運用収入は減少しました。

### ② 下水道事業

	平成30年度				平成29年度			
	平均資金運用額		運用収入	平均利回り	平均資金運用額		運用収入	平均利回り
	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)
普通預金	800	41.4	8	0.001	900	45.2	9	0.001
定期預金	1,132	58.6	803	0.071	1,093	54.8	264	0.024
債券	—	—	0	—	—	—	0	—
その他	—	—	0	—	—	—	0	—
計	1,932	100.0	811	0.042	1,993	100.0	273	0.014

平均資金運用額はほぼ変わらないものの、平均利回りが増加したため、運用収入は増加しました。

### ③ 病院事業

	平成30年度				平成29年度			
	平均資金運用額		運用収入	平均利回り	平均資金運用額		運用収入	平均利回り
	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)	(百万円)	構成比(%)	(千円)	(%)
普通預金	800	13.9	8	0.001	800	11.0	8	0.001
定期預金	4,565	79.2	3,252	0.071	6,444	89.0	1,473	0.023
債券	397	6.9	1,457	0.367	—	—	0	—
その他	—	—	0	—	—	—	0	—
計	5,762	100.0	4,717	0.082	7,244	100.0	1,481	0.020

平均資金運用額が約15億円減少しましたが、平均利回りが増加したため、運用収入は増加しました。

## 説明

- ・「歳計現金等」とは、一般会計及び特別会計に属する歳計現金並びに歳入歳出外現金である。
- ・「基金」とは、特定の目的のために積み立てた資金または定額の資金を運用するために設けられた資金のことをいう。本市では「財政調整基金」、「市民協働推進基金」、「福祉振興基金」等、22の基金を設けている。
- ・「債券」とは、国債、地方債、政府保証債、財投機関債、国庫短期証券(TDB)をいう。
- ・「繰替運用」とは、基金から歳計現金等への繰替え貸しのことをいう。
- ・平均資金運用額＝延べ運用額÷365日
- ・平均利回り＝運用収入÷平均資金運用額×100